



佐野東高校 ～ キャリア教育を軸とした探究活動 ～

《 特色 》 佐野東高校は、「総合的な探究の時間」を活用した体系的なキャリア教育の推進と、より高みを目指した進路の実現を目標に掲げています。大学と高大連携協定を結び、指導・助言を受けながら、SDGsや地域に関連した探究活動を行い、自らの将来を主体的に設計していく力を養っています。

年間予定

1年	5月	職業ガイダンス
	6月	職業人パネルディスカッション
	9～10月	大学・企業訪問事前研究
	10月	大学・企業訪問
	11月	プレゼンテーションガイダンス
	11～12月	大学・企業訪問まとめ
2年	1～2月	大学・企業訪問発表会
	4月	探究ワークショップ
	5月	SDGs講座
	5～7月	探究テーマ設定、企画書作成
	9～10月	探究活動
	10～11月	レポート作成 中間発表会
	11～1月	レポートまとめ プレゼンテーション資料作成
	1～2月	探究活動のプレゼンテーション
3月	探究活動成果発表会	

point1

外部講師を招いて講座を開催し、探究活動を進める上で重要な表現力を身に付け、その後の発表会や2年次の活動につなげる。

《 内容 》

場面に応じた発表手段の選び方（ポスターセッション、プレゼンテーションソフトの利用、KP法等）、プレゼンテーションソフトを用いた発表の流れ、印象に残る発表の方法を学ぶ。

point2

外部講師を招いて探究活動に関するワークショップやSDGsに関する講座を開催し、探究活動を進める上で必要となる基本的な知識を身に付ける。

《 生徒の感想 》

- ・社会には様々な問題があり、私たち自身も解決策を考えていかなければならないことが分かった。
- ・探究ワークショップを行い、課題を見つけるには小さな気付きが大切であることが分かった。



point3

テーマ設定の条件と生徒の興味・関心を踏まえ、探究テーマを設定する。

《 テーマ設定の条件 》

- ①『持続可能な社会に向けて』SDGsの目標やターゲットから選択
- ②『私の町をよりよくするために』6つの視点から選択
観光・産業、保育・福祉、歴史・伝統、環境・自然、安全・防災、文化・文芸

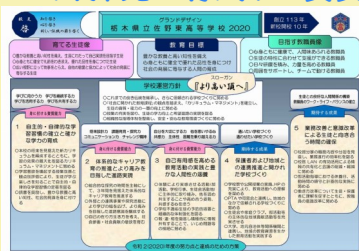
《 主な探究テーマ 》

- ・『校内でのジェンダー平等』
制服や名前の呼び方など、学校内にある男女の違いについて調べ、問題点の改善を提言する。
- ・『台風の被害を抑えるには』
佐野市は令和元年の台風で大きな被害を受けた。その原因を調べ、被害を少なくする方策を考える。



これまでの主な取組

- 教育クラウドプラットフォームの活用
生徒が探究活動のまとめを学期ごとにスマートフォンで入力し蓄積。蓄積したポートフォリオは、評価等に活用している。
- オリジナルワークシートを作成
- 1年間の指導の流れを見える化
- グランドデザインにより、探究で育成する資質・能力を明確化



将来設計力
課題発見・探究力
コミュニケーション力

これから目指す取組

- 高大連携の推進
生徒に対する指導や助言を大学等に依頼し、探究活動の充実を図る。
- グランドデザイン2021の作成
生徒・学校・地域の強みと弱みを再整理し、デザインに反映する。

point4

テーマ設定から発表まで生徒同士の相互評価を取り入れる。探究活動のプレゼンテーションでは、ルーブリックで生徒同士が相互評価を行い、クラスの代表作品を選出する。



《 担当者の声 》 「総合的な探究の時間」担当 厚木 知子

大学・企業訪問や探究活動を通じて、生徒のキャリア発達を促すことができました。また、生徒は探究活動を行う中で教科の学習内容との関連性に気付き、学習に主体的に取り組むようになりました。今後は、大学や地域との連携を積極的に行い、この取組をさらに充実したものにしたいです。